

第144回

岩手朝日テレビ放送番組審議会

議 事 録

(平成23年1月)

2011.1.26

株式会社 岩手朝日テレビ

第144回 放送番組審議会議事録

1. 開催日時 平成23年1月26日(水)午後16時～
2. 開催場所 ホテルメトロポリタンニューウィング
3. 委員の出席

委員総数 7名

出席委員数 1名

委員長	増子 義孝
副委員長	村田 久
委員	小田島 利昭
委員	そのだ つくし
委員	弭間 俊則
委員	吉田 政司

欠席委員数 1名

委員	笠川 さゆり
----	--------

会社側出席者名

代表取締役社長	富永 健治
専務取締役	辻 一成
取締役総務局長	小林 直紀
取締役	長生 正広
技術局長	佐々木 正樹
報道制作局長	佐々木 貴
報道制作局副部長	鈴木 敦
報道制作部	三浦 大輔
編成業務局長兼放送番組審議会事務局長	落合 成範
番組審議会事務局	佐藤 清一

4. 議 題

(1) 合評番組

「ふるさとCM大賞 in IWATE 2010」

(2) 2月単発番組について

(3) 次回審議会

開 催 日：平成23年2月24日日(木) 11時～

岩手朝日テレビ 3階 会議室

合評課題：「ウギャルなわけ」

放送日時：平成23年2月19日(土) 午前10時50分～11時45分

5. 概 要

- * 富永社長から15周年事業への意気込みを披露する。
- * 落合事務局長から、1月の視聴率と2月の単発番組について説明した。
- * CM大賞は9回になるが、年々グレードアップしている。
- * CM大賞は収録時間も長いと思うが良く編集出来ている。
- * オープニングの映像が綺麗で素晴らしい。
- * 地域活性化の良い企画だと思う。
- * 子供やお年寄りを動員してのCM作りは、とても微笑ましく好感がもてる。
- * 9年間の集大成として、これまで合評で出された意見・要望・感想が番組制作の改善に結びついている。
- * 甲乙付けがたい作品が多くコメントも難しい、欲を言えば奇想天外な作品もあっていい。

6. 議事の内容

- 落合事務局長 それでは、只今より、第 144 回岩手朝日テレビ放送番組審議会を始めます。
それでは、増子委員長、議事をお願いいたします。
- 増子委員長 それでは富永社長、一言お願いします。
- 富永社長 本日もお忙しい中、お集まり頂きましてありがとうございます。
今年最初の番組審議会ではありますが、本年もどうぞよろしくをお願いいたします。
今年は 15 周年の節目の年であります。全社一丸となって業務に邁進するつもりです。既に、記念事業の取り組みも順調に進んでおります。
委員の皆様も今まで以上に、ご指導賜りたくお願いします。
- 増子委員長 ありがとうございました。
何かご質問等ございませんか？はやぶさはどこで展示される予定でしょうか。
- 増子委員長 わかりました。他に何かご質問等ございますか。
なければ視聴率、単発番組についてお願い致します。
- 落合事務局長 それでは、1 月の視聴率と 2 月の単発番組についてお話しさせていただきます。
2 月の単発番組ですが、19 日土曜日に次回の合評課題でもあります I A T 制作番組「ウギャルなわけ」の放送を予定しております。「ウギャル」とは魚の「ウオ」と海「ウミ」の頭文字を掛け合わせた造語であり、カキの養殖や定置網などの作業を通し、魚料理の開発などのプロジェクトや岩手県の漁業の魅力を再発見する番組です。「私たちウギャルなわけ」を口々にするモデルたちの「ウギャルな理由」を掘り下げた内容です。どうぞご覧いただけますようお願い申し上げます。
また同日、16 時から「東北ふるさと CM フェスティバル」の放送を予定しております。こちらは、東北 6 県の「ふるさと CM」を一挙公開する番組で、最優秀作品に選ばれた町の様子や舞台裏などを紹介いたします。

視聴率ですが、昨年1月から12月までは、全日IATは3位、ゴールデンも3位でありました。テレビ岩手さんが3冠達成しております。

1月の視聴率は、全日8.0%で3位、ゴールデン11.9%で4位、プライム11.9%で3位、プライム2が9.4%で1位でした。

増子委員長

ありがとうございました。何かご質問ございますか。わたくしからですが、プライム2が1位ですが、これはなぜ1位なのでしょう。

落合事務局長

ネオバラエティが好調で、「お願いランキング」を深夜11時台にベルト放送をしておりますが、こちらが視聴率を取っております。また、今回ゴールデンの時間帯に3時間番組のスペシャル番組が多く放送されました。「テレビタックル」や「家庭の医学」のスペシャル番組が視聴率が取れなかったのが主な原因だと思われます。

増子委員長

私も「テレビタックル」を好んでみていますが、最近内容が薄れてきているように感じますね。

小林取締役

コメンテーターが最近変わりました人数も少なくなったのが要因かもしれませんね。

増子委員長

その他、何かご質問等ございませんか。ないようですので、合評課題に移ります。

小田島委員

「CM大賞」は今回で9回目になりますが、年々グレードがアップしていますね。1番良かったと思ったのは、審査委員長とのやり取りや丹野アナウンサーのインタビューが良かったと思います。藤原アナウンサーなども会場に行っていたようですが、もっと出演させる場面があればもっと良いのではないのでしょうか。

また審査委員の方の顔ぶれも民謡歌手の方などもいらっしやって、今までとは違う感じでよかったです。

今回は30市町村の参加でTPP問題などで農業の方も大変でしょうけど、各地域の特産物などが出ていてとても好感が

持てました。

今は暗い話題が多くその中で、このようなCMやタイガーマスクの話題など明るい話題が出るとホッとしますね。

そのだ委員

番組審査委員の立場として見て、今回はふくだこうへいさんが一緒に審査委員でおりましたので緊張が和らいでよかったと思います。CM大賞は一日ががりの長い収録にも関わらずよく編集できていたので感心しました。

小田島委員から先ほど出ましたが、丹野アナウンサーの落ち着いた司会ぶりが本当に良かったと思います。山本監督のお話が結構長いのですが、そんなところを端のアナウンサーがきちんとまとめていて、要所をきちんと掴んでいたと思います。

オープニングの映像がとてもきれいで素晴らしいと思います。今回は素晴らしい仕上がりでした。

弭間委員

今回私は、3回目のCM大賞ですが、改めて地域活性化のため良い企画だと思います。

地域対抗戦のような野球で言えば甲子園での戦いのようなイメージで参加する人、応援する人が地域のために一生懸命戦うように思いました。

今回で9回目のCM大賞ですが、年々レベルアップしていて会場の雰囲気も老若男女が出演していてとても良いですね。

東北大会が2月3日に行われるようですが、盛り上がることに期待したいです。この番組に関心が持てるようにもっとPRしたらどうでしょう。全国大会も企画してみてもいいでしょうね。

また制作している雰囲気も盛り込んでいて伝わるものがありました。アイデアとして前回の「くずまきずな」のような切磋琢磨していてとても良いと思います。ダイジェスト版があるともっと良いかもしれません。

村田副委員長

今まで毎年見てきましたが、今回は今までで一番見やすく出来ていましたね。

美しい岩手山の風景がきれいでしたね。音楽はテンポが良く2002年から2009年にかけての大賞の紹介など思わずテレビに引き付けられました。イントロの構成もよかったと思います。

ふるさとCM大賞の内容の説明が丁寧でわかりやすかった

と思います。全体を通して出演者や観客の方へのカメラアングルに変化があって見る側にとっては楽しく最後まで飽きが来ることなく見れました。

サービスぶり旺盛な山本監督に対して落ち着いた丹野アナウンサーの進行サポートに好感が持てました。

30市町村が参加されどこの市町村も映像が美しく感心してしまいました子供たちやお年寄りを動員したCMづくりはととても微笑ましく、地元住民との密着はより故郷を感じる内容に仕上がっていたのではないのでしょうか。

審査には苦労したと思いますがなぜ大賞が山田町の「うまい掛け算」に決まったのでしょうか。少しでも打ち明けてほしかったですね。審査がもめて、甲乙つけがたかったとの一言でもよいからコメントを添えてほしかったことが唯一残念なところですよ。

吉田委員

全体として9回目の「ふるさとCM大賞」9年間の集大成ですね。冒頭の9年を振り返って地域の方の努力が伺えました。

9年間の集大成で今まで合評課題で出た意見などが改善されていたと思います。このような番組をほかの局では制作していないので、差別化をして末永く続けてほしいと思いますね。中でも、奥州市の104歳のご老人が出ていましたが、ご老人の涙をよくとらえていました。視聴者にも伝わったと思いますよ。

このような地元の制作番組は、丁寧な番組作りが重要です。IATさんも今年開局15周年ですので、抜本的に改善してみたいかがでしょうか。

増子委員長

今回を含めて9回目のCM大賞でしたが、定着してきましたね。会場の雰囲気を見て、作る側も本気に取り組んでいる姿が伺えました。金賞を取れば一年間CMを流してもらえ権利も良い企画ですね。

CM大賞は後戻りできない番組だと思うのです。過去のものより丁寧な作りに年々なっていますし、エピソード的な場面は前よりどんどん良くなっています。

丹野アナウンサーのコメントは面白かったですね。とても良いと感じましたし、監督をおちよくりながら上手に進行していました。なかなかできることではありませんよ。

また、今回の審査委員はユニークな顔ぶれで全体の主役的な要素を持っていました。もう少しコメントが欲しかったけど、なかなかコメントを出すのも難しいですね。全体的にびっくりする様な作品はありませんでしたが、今回のように、甲乙つけがたい作品が多いとコメントも難しいでしょうね。

もう少し印象に残るような、奇想天外な作品があっても良いかなと思いました。

30人31脚の様な企画より地元としてはCM大賞の様な企画のほうが私としては根付いてほしいと思います。

佐々木報道局長

貴重なご意見をありがとうございました。

今回は34市町村のうち30市町村が参加され、出ていない市町村が4市町村ありました。交渉を試みましたがなかなか

か参加してもらえない市町村もありました。

また、丹野アナウンサーは今回が司会3年目で慣れてきて監督のコメントにもうまく交わらせていたと思います。審査委員も昨年までの委員さんとは雰囲気を変えてお願いしました。その年の岩手の人をお願いする形を一昨年よりしております。演歌歌手のふくだこうへいさんと委員のそのださんは、お知り合いでしたので、審査委員の方々の雰囲気が良く、皆さまにも、好感をもたれたと思います。

小田島委員

発表の順番はどうやって決めているのでしょうか。

報道制作三浦

「あいうえお」順にしていますが、これからどうやって決めるのかを考えなくてはいけないと思っております。

CM大賞は撮影を市町村にお願いしておりますが、今は、ほとんどHDの16対9で撮影しているので画像がきれいに仕上がっています。

番組を制作するにあたり、各市町村の方に出演していただくので不公平さが出ないように心掛け、面白くなければ視聴者は見てくれません。そのあたりを考えて編集いたしました。

各市町村の出来がとてもよく私も今回は力が入りました。

吉田委員 制作風景と本編が順番を変えているのでマンネリ化して
いなくて良かったですね。

報道制作鈴木副部長 イベントに則した作りを心掛けていただき、番組として面
白い企画をお願いして作成していただきました。

富永社長 次回は10周年にあたります。15秒のCMとなりますの
でますます難易度が上がりと思います。

増子委員長 楽しみですね。次回にも期待したいですね。
何か質問はございますか。
ないようですので、次回の審議会についてお願いします。

落合事務局長 では次回についてご説明申し上げます。
次回は、2月24日木曜日の午前11時から弊社会議室で開
催いたします。合評課題は「ウギャルなわけ」です。今回同
様、貴重なご意見をお待ち申し上げます。

増子委員長 それでは終了します。ありがとうございました。

7. 審議機関の答申または改善意見に対してとった措置
ご指摘頂いた点を、今後の番組作りの参考とすることとした。

8. 審議機関の答申または意見の概要の公表
2月2日朝日新聞岩手県版に審議概要を掲載。
系列各局に議事録を送付。
本社受付に議事録を常備、閲覧に供す。
インターネットホームページに掲載。

9. その他の参考事項
特になし

10. 配布資料
◎ 2月単発番組編成予定表
◎ 1月岩手地区視聴率